

平成 30 年 3 月 1 日

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去および今後の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 血液透析導入前後における糖尿病黄斑浮腫の変化と関連因子の多施設前向き研究

研究責任者 福井大学 眼科 松村 健大

(共同研究機関と施設責任者)

東京医科大学八王子医療センター 眼科 志村 雅彦

奈良県立医科大学 眼科学教室 上田 哲生

兵庫医科大学 眼科学教室 石川 裕人

東京女子医科大学糖尿病センター 糖尿病眼科 北野 滋彦

防衛医科大学校病院 眼科 高山 圭

信州大学 眼科学教室 平野 隆雄

聖路加国際病院 眼科 大越 貴志子

三重大学 眼科学 杉本 昌彦

山口大学医学部 眼科 木村 和博

市立札幌病院 眼科 木下 貴正

研究の目的

糖尿病黄斑浮腫は、視力をつかさどる黄斑部に浮腫が起こることで視力低下をきたす状態で、糖尿病患者における視力障害の主な原因の一つです。臨床では薬物療法、手術などが黄斑浮腫の治療として用いられていますが、これらの治療に抵抗する黄斑浮腫も数多く存在します。一方で、血液透析導入後に、糖尿病黄斑浮腫が改善する報告が散見されますが、多症例を定量的に観察した報告はほとんどありません。本研究では、血液透析導入による糖尿病黄斑浮腫の変化を経時的かつ定量的に観察し、糖尿病黄斑浮腫の変化と関連のある限局所因子および全身因子について多施設前向きに調査を行うことが目的です。これらの情報を解析し評価することで、今後の治療方針の決定や予後予測に貢献できると考えています。

研究の方法

1 対象となる患者さん

平成 30 年 3 月 1 日から平成 33 年 12 月 31 日までに当科を受診された糖尿病網膜症の患者さんのうち、その後に血液透析が導入され、6 カ月以上経過観察された方。

2 利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見（身長、体重、血圧）、既往歴、透析導入前後の視力・光干渉断層計の結果、血液・尿検査データ（HbA1c、空腹時血糖、グリコアルブミン、総タンパク、LDL、HDL、中性脂肪、クレアチニン、尿素窒素、尿タンパク）を診療録から収集します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科